



## 訓練しなきゃ使えませんよ

村消防団（道合政喜団長）の火災防ぎょ訓練は、8月31日、黒崎小学校を主会場に消防団員102人、婦人消防協力隊員20人と黒崎地区の方々約30人が参加して行われました。

訓練は、午前8時強風乾燥注意報が発令、気象が急

変し8時30分ころ風速10m/s以上の強風となり、消したはずの焚き火が再燃、民家に飛び火して火災が発生したことを想定。タンク車、ポンプ車など車両13台が参加、有事に備えた消火訓練を行いました（写真）。

初期消火訓練では、消火器に振り回される一幕もありましたが、初期消火がどんなに大切かみんなですれぞれ実感していました。

## 職場体験は将来の道しるべ

普代中学校（寺林拓也校長・生徒百十九人）では、二年生四十一人が村内にある宿泊施設など体験してみたい職場十二か所をピックアップ、このほど職場体験が行われました。職場体験は、実際に仕事を体験することで進路に対する意識を高め、自分の将来を考えるため毎年実施されています。

役場総務課で広聴広報係りの職場体験をした下道由貴さん、藤嶋香緒里さん二又勇太

君、日蔭茂井尚樹君の四人は同級生たちが体験している職場を訪問、「どうしてこの職場を選びましたか。体験した感想は」など質問し、ほにかみながらも一生懸命丁寧に聞き取った事柄を書きとめていました（写真）。

「体験して初めてわかることもありとても勉強になりました」と、二又君ら四人は、笑顔で語ってくれました。

皆さんの将来の夢がかないますようにお祈りいたします。



## 50か所のセクションに挑む

第二十七回イーハトーブトライアル大会は八月三十、三十一日の両日行われました。この大会は、北緯四〇度線を通る県北十二市町村の山野を



バイクで走破するものです。

大会四部門に全国から約五百人が参加し、その中の「クラシック」部門は百五十人のライダーが安代町田代平の七時雨を出発点に普代村を折り返し、二日間で三百五十

キロ、五十セクションを走破する同大会メインのレースです。

毎年行われるデモンストレーションでは、成田匠さん（二五）亮さ



ん（二三）兄弟が、普代浜で華麗なテクニクを披露しました（写真左）。その神業に村民や参加者からは驚愕の声が漏れていました。

村では、国民宿舎くろさき荘に宿泊いただいた参加者たちを歓迎し、普代中学校神楽同好会（寺林拓也校長・生徒百十九人）二十一人（山本一成会長・メンバー二十一人）による神楽、中野流鶴鳥七頭舞を披露。激しくて華麗な舞は大喝采を浴びていました。